

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：自然探険コロボックルくらぶ

20A-01

代表者：横山 隆

URL : <http://korobokkur.kusaki.net>

1. 活動が必要とされた状況

川から海に流れたゴミで、多くの生き物が犠牲になっていることを知り、川の水上ゴミ拾いを行う必要を感じました。カヤックでの川下りとゴミ拾いを組み合わせることで、子供たちの冒険心も育て、自然を守る活動に積極的に参加してもらおうと計画しました。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

・4月29日 参加37名 綾瀬川水上ゴミ拾い（川口市綾瀬の森～草加市綾瀬川左岸広場）

助成金で購入のカヤック4艘と県のカヤック6艘、個人所有の2艘、計12艘で、綾瀬川7kmを川下りしながら、水上のゴミを拾いました。ゴミ袋で25袋分回収。草加パドラーズさんに御協力をいただき、多くのメディアの取材もありました。



・10月14日 参加26名 綾瀬川水上ゴミ拾い（綾瀬の森周辺）

助成金で購入のカヤック4艘を使い、綾瀬の森を拠点に、綾瀬川の水面上ゴミ拾いをしました。サイサン環境保全基金役員の皆様の見学がありました。雨天でしたが、ゴミ袋で4袋分回収。



・12月16日 参加19名 川口市環境フォーラムで活動発表

川口市環境フォーラムのメインステージで、カヤックでの水上ゴミ拾いの活動を、子供たちが発表しました。助成金で購入のカヤックを使い演技しました。



3. 活動の成果

綾瀬川は日本一汚い川と言われ、人々の気持ちが川から離れていましたが、子供たちがカヤックで水上に出ることで、川と心の距離が近くなったことを感じました。子供たちは意欲的にゴミ拾いをしてくれて、たくさんのゴミを回収できました。メディアの取材受け入れや、フォーラムに参加し、社会にも活動の大切さと、子供たちの生き生きとした姿を伝えました。

4. 今後に残された課題

カヤックに乗船できる人数が少ないので、今後も定期的に水上ゴミ拾いの活動を継続して、体験者数を増やしていきます。冒険活動は事故の危険性もありますが、リスク管理に気を付け、保護者の協力を得て活動を行っていきます。